



Docket No.: 2038-280

PATENT

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of

Junji SHINOHARA *et al.*

Application Number 09/990,262

Filed: November 23, 2001

For: DISPOSABLE UNDERGARMENT

Honorable Commissioner of Patents
Washington, D.C. 20231

)
)
)
)
)
)
)

Attention: OIPE

TRANSMITTAL OF CERTIFIED PRIORITY DOCUMENT(S)

Sir:

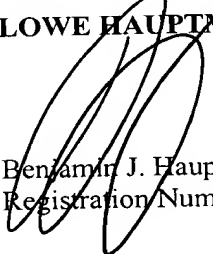
At the time the above application was filed, priority was claimed based on the following applications(s):

Japanese Patent Application No. 2000-357937, filed November 24, 2000 .

Applicant is submitting herewith a copy of each priority application listed above. The Examiner is respectfully requested to acknowledge receipt of the certified copy in accordance with prescribed procedures. Kindly direct any inquiries in connection with this matter to the undersigned.

Respectfully submitted,

LOWE HAUPTMAN GILMAN & BERNER, LLP


Benjamin J. Hauptman
Registration Number 29,310

1700 Diagonal Road, Suite 310
Alexandria, Virginia 22314
(703) 684-1111 BJH:klb
Facsimile: (703) 518-5499
DATE: January 31, 2002



日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2000年11月24日

出願番号

Application Number:

特願2000-357937

出願人

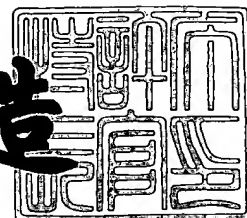
Applicant(s):

ユニ・チャーム株式会社

2001年 8月 3日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3068088

【書類名】 特許願

【整理番号】 SL12P130

【提出日】 平成12年11月24日

【あて先】 特許庁長官 及川 耕造 殿

【国際特許分類】 A41B 13/15
A61F 13/00

【発明の名称】 使い捨て着用物品

【請求項の数】 3

【発明者】

【住所又は居所】 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀 1 5 3 1 - 7 ユニ・
チャーム株式会社テクニカルセンター内

【氏名】 篠原 淳二

【発明者】

【住所又は居所】 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀 1 5 3 1 - 7 ユニ・
チャーム株式会社テクニカルセンター内

【氏名】 合田 英史

【発明者】

【住所又は居所】 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀 1 5 3 1 - 7 ユニ・
チャーム株式会社テクニカルセンター内

【氏名】 向井 敬智

【特許出願人】

【識別番号】 000115108

【氏名又は名称】 ユニ・チャーム株式会社

【代表者】 高原 慶一郎

【代理人】

【識別番号】 100066267

【弁理士】

【氏名又は名称】 白浜 吉治

【電話番号】 03(3592)0171

【選任した代理人】

【識別番号】 100108442

【弁理士】

【氏名又は名称】 小林 義孝

【電話番号】 03(3592)0171

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 006264

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9904036

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 使い捨て着用物品

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 透液性表面シートと不透液性裏面シートとの間に吸液性コアが介在し、前胴周り域および後胴周り域とそれら胴周り域の間に位置する股下域とを備え、前記股下域の両側に横方向内方へ向かって凹欠する脚周り対向側部が形成され、前記対向側部の前端近傍から前記股下域の前後方向中央部へ向かって実質的に弧を画く伸縮性の第 1 弾性部材と、前記対向側部の後端近傍から前記前後方向中央部へ向かって実質的に弧を画く伸縮性の第 2 弾性部材とが伸長状態で取り付けられた使い捨て着用物品において、

前記コアが、前記股下域を中心に配置され、前記前後方向中央部に延びる中間部と、前記中間部から前記前胴周り域へ向かって延びる前端部と、前記中間部から前記後胴周り域へ向かって延びる後端部とを有し、前記第 1 弾性部材が、前記対向側部の前端近傍に延びる第 1 両側部分と、前記裏面シートの側に延びていて前記コアの前端部を横切る第 1 中央部分とを有し、前記第 2 弾性部材が、前記対向側部の後端近傍に延びる第 2 両側部分と、前記裏面シートの側に延びていて前記コアの後端部を横切る第 2 中央部分とを有することを特徴とする前記物品。

【請求項 2】 前記コアの前後端部と中間部との剛性が、前後端部＜中間部の関係にある請求項 1 記載の物品。

【請求項 3】 前記対向側部を前後方向へ延びる伸縮性の第 3 弾性部材が、前記第 1 弾性部材の第 1 中央部分と前記第 2 弾性部材の第 2 中央部分との間に伸長状態で取り付けられている請求項 1 または請求項 2 に記載の物品。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、排泄物を吸収、保持する使い捨て着用物品に関する。

【0002】

【従来の技術】

特開平 8 - 2 4 2 9 1 号公報は、透液性表面シートと不透液性裏面シートとの

間に吸液性コアが介在し、互いに対向する前胴周り域および後胴周り域とそれら胴周り域の間に位置する股下域とを備え、前後胴周り域の両側縁部が連結されて胴周り開口と一对の脚周り開口とが画成されたパンツ型の使い捨ておむつを開示している。

【0003】

このおむつには、股下域の両側に横方向内方へ向かって凹欠する一对の脚周り対向側部が形成されている。おむつには、対向側部の前端から股下域の前後方向中央部へ向かって弧を画く伸縮性の第1弾性部材が伸長状態に取り付けられ、対向側部の後端から股下域の前後方向中央部へ向かって弧を画く伸縮性の第2弾性部材が伸長状態に取り付けられている。第1および第2弾性部材は、対向側部の前後端近傍に延びる両側部分と、前後方向へ離間対向して股下域の前後方向中央部を横切る中央部分とを有する。対向側部には、第1および第2弾性部材の中央部分の間を前後方向へ延びる伸縮性の第3弾性部材が伸長状態に取り付けられている。対向側部は、脚周り開口の縁部を画成する。

【0004】

このおむつでは、それを着用したときに、第1および第2弾性部材の両側部分と第3弾性部材とが着用者の脚周りを圍繞するので、第1および第2弾性部材が股下域において前後方向へ離間していても、第1～第3弾性部材によって着用者の脚周り全周を締め付けることができ、股下域からの排泄物の漏れを防ぐことができる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

前記第1および第2弾性部材では、中央部分の収縮が表裏面シートよりも高剛性のコアによって阻止され、中央部分が十分に収縮することができない場合がある。このおむつでは、中央部分の収縮が不十分であると、その収縮を利用してコアを着用者の肌に押し付けることができず、コアを着用者の肌に密着させることができない。また、このおむつでは、第1および第2弾性部材の中央部分が股下域の前後方向中央部を横切っているので、中央部分の収縮によってコアの中間部を着用者の肌に押し付けることができたとしても、コアの前後端部を着用者の肌

に密着させることはできない。

【0006】

本発明の課題は、第1および第2弾性部材の中央部分の収縮を利用し、コアの前後端部を着用者の肌に密着させることができる使い捨て着用物品を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決するために、本発明が前提とするところは、透液性表面シートと不透液性裏面シートとの間に吸液性コアが介在し、前胴周り域および後胴周り域とそれら胴周り域の間に位置する股下域とを備え、前記股下域の両側に横方向内方へ向かって凹欠する脚周り対向側部が形成され、前記対向側部の前端近傍から前記股下域の前後方向中央部へ向かって実質的に弧を画く伸縮性の第1弾性部材と、前記対向側部の後端近傍から前記前後方向中央部へ向かって実質的に弧を画く伸縮性の第2弾性部材とが伸長状態で取り付けられた使い捨て着用物品である。

【0008】

かかる前提において、本発明の特徴は、前記コアが、前記股下域を中心に配置され、前記前後方向中央部に延びる中間部と、前記中間部から前記前胴周り域へ向かって延びる前端部と、前記中間部から前記後胴周り域へ向かって延びる後端部とを有し、前記第1弾性部材が、前記対向側部の前端近傍に延びる第1両側部分と、前記裏面シートの側に延びていて前記コアの前端部を横切る第1中央部分とを有し、前記第2弾性部材が、前記対向側部の後端近傍に延びる第2両側部分と、前記裏面シートの側に延びていて前記コアの後端部を横切る第2中央部分とを有することにある。

【0009】

本発明の実施の態様の一例としては、前記コアの前後端部と中間部との剛性が、前後端部<中間部の関係にある。

【0010】

本発明の実施の態様の他の一例としては、前記対向側部を前後方向へ延びる伸

縮性の第 3 弾性部材が、前記第 1 弾性部材の第 1 中央部分と前記第 2 弾性部材の第 2 中央部分との間に伸長状態で取り付けられている。

【 0 0 1 1 】

【発明の実施の形態】

添付の図面を参照し、本発明にかかる使い捨て着用物品の詳細をパンツ型のおむつと開放型のおむつとを例として説明すると、以下のとおりである。

【 0 0 1 2 】

図 1, 2 は、パンツ型に成形する以前の状態で示すおむつ 1 A の部分破断平面図と、図 1 の状態からパンツ型に成形したおむつ 1 A の部分破断斜視図とであり、図 3 は、コア 4 の中間部 4 b を省略して示す図 1 の A - A 線端面図である。図 1 では、横方向を矢印 X で示し、前後方向を矢印 Y で示す。図 2 では、胴周り方向を矢印 X で示し、脚周り方向を矢印 Y で示す。なお、表裏面シート 2, 3 における内面とは、コア 4 に対向する面をいい、それらシート 2, 3 の外面とは、コア 4 に非対向の面をいう。

【 0 0 1 3 】

おむつ 1 A は、透液性表面シート 2 と、疎水性繊維不織布 3 a にプラスチックフィルム 3 b を固着した複合シートからなる不透液性裏面シート 3 と、表面シート 2 と裏面シート 3 との間に介在し、それらシート 2, 3 の内面に接合された吸液性コア 4 とを主要な構成部材とする。

【 0 0 1 4 】

おむつ 1 A は、図 1 に示すように、前後方向に前胴周り域 2 0 と、後胴周り域 2 2 と、それら胴周り域 2 0, 2 2 の間に位置する股下域 2 1 とを有する。おむつ 1 A は、前後胴周り域 2 0, 2 2 を横方向へ延びる両端縁部 5 と、前後胴周り域 2 0, 2 2 を前後方向へ延びる両側縁部 6, 7 とを有する。

【 0 0 1 5 】

股下域 2 1 の両側には、横方向内方へ向かって凹欠する一対の脚周り対向側部 8 が形成されている。股下域 2 1 には、弾性的な伸縮性を有する複数条の第 1 弾性部材 9 および第 2 弾性部材 1 0 と、弾性的な伸縮性を有する複数条の第 3 弾性部材 1 1 とが伸長状態で取り付けられている。

【 0 0 1 6 】

コア 4 は、股下域 2 1 に配置されて前後方向へ延びている。コア 4 は、股下域 2 1 の前後方向中央部 2 1 a に延びる中間部 4 b と、中央部 2 1 a から前胴周り域 2 0 へ向かって延びる前端部 4 a と、中央部 2 1 a から後胴周り域 2 2 へ向かって延びる後端部 4 c とを有する。コア 4 の前端部 4 a は、前胴周り域 2 0 の側へわずかに延びている。コア 4 では、対向側縁 8 の内側を前後方向へ延びる両側縁 4 d がおむつ 1 A の横方向内方へ向かって弧を描いている。

【 0 0 1 7 】

コア 4 は、粉碎パルプと高吸収性ポリマー粒子との混合物、または、粉碎パルプと高吸収性ポリマー粒子と熱可塑性合成樹脂繊維との混合物であり、所要の厚みに圧縮されている。ゆえに、コア 4 は、表面シート 2 や裏面シート 3 よりも高剛性である。

【 0 0 1 8 】

コア 4 は、前後端部 4 a, 4 c の剛性が中間部 4 b のそれよりも低い。コア 4 の前後端部 4 a, 4 c の剛性を中間部 4 b のそれよりも低くするには、前後端部 4 a, 4 c におけるコア 4 の坪量を中間部 4 b におけるコア 4 のそれよりも低くすればよい。また、前後端部 4 a, 4 c の坪量と中間部 4 b のそれとが同一である場合は、前後端部 4 a, 4 c におけるコア 4 の密度を中間部 4 b におけるコア 4 のそれよりも低くすればよい。

密度を中間部 4 b におけるコア 4 のそれよりも低くするか、または、コア 4 の前後端部 4 a, 4 c の厚み寸法を中間部 4 b のそれよりも小さくすればよい。

【 0 0 1 9 】

第 1 弾性部材 9 は、前胴周り域 2 0 の側に位置する対向側部 8 の前端 8 a から股下域 2 1 の中央部 2 1 a へ向かって実質的に弧を描いて延びている。第 1 弾性部材 9 は、対向側部 8 の前端 8 a 近傍を対向側部 8 に沿って延びる両側部分 9 a と、コア 4 の前端部 4 a を横切る中央部分 9 b とを有する。

【 0 0 2 0 】

第 2 弾性部材 1 0 は、後胴周り域 2 2 の側に位置する対向側部 8 の後端 8 b から股下域 2 1 の中央部 2 1 a へ向かって実質的に弧を描いて延びている。第 2 弾

性部材 1 0 は、対向側部 8 の後端 8 b 近傍を対向側部 8 に沿って延びる両側部分 1 0 a と、コア 4 の後端部 4 c を横切る中央部分 1 0 b とを有する。

【 0 0 2 1 】

第 3 弾性部材 1 1 は、第 1 弾性部材 9 の中央部分 9 b と第 2 弾性部材 1 0 の中央部分 1 0 b との間に配置され、対向側部 8 に沿ってコア 4 の両側縁 4 d の外側を前後方向へ延びている。第 1 および第 2 弾性部材 9, 1 0 と第 3 弾性部材 1 1 とは、裏面シート 3 を形成する繊維不織布 3 a とプラスチックフィルム 3 b との間に介在し、それらに固着されている。

【 0 0 2 2 】

両端縁部 5 には、横方向へ延びる複数条の胴周りに用弾性部材 1 2 が伸長状態で取り付けられている。胴周りに用弾性部材 1 2 と第 1 および第 2 弾性部材 9, 1 0 との間には、前後胴周りに域 2 0, 2 2 を横方向へ延びる複数条の補助弾性部材 1 3 が伸長状態で取り付けられている。胴周りに用弾性部材 1 2 と補助弾性部材 1 3 とは、繊維不織布 3 a とプラスチックフィルム 3 b との間に介在し、それらに固着されている。

【 0 0 2 3 】

おむつ 1 A は、図 2 に示すように、前後胴周りに域 2 0, 2 2 に延びる両側縁部 6, 7 が間欠的に並ぶ接合部 1 4 を介して固着され、パンツ型に成形される。パンツ型に成形されたおむつ 1 A には、胴周りに開口 1 5 と一対の脚周りに開口 1 6 とが画成されている。おむつ 1 A では、両端縁部 5 が胴周りに開口 1 5 の縁部を形成し、対向側部 8 が脚周りに開口 1 6 の縁部を形成する。

【 0 0 2 4 】

第 1 および第 2 弾性部材 9, 1 0 の両側部分 9 a, 1 0 a と第 3 弾性部材 1 1 とは、脚周りに開口 1 6 の縁部を脚周りに方向へ延びている。胴周りに用弾性部材 1 2 は、胴周りに開口 1 5 の縁部を胴周りに方向へ延びている。補助弾性部材 1 3 は、前後胴周りに域 2 0, 2 2 を胴周りに方向へ延びている。おむつ 1 A では、それら弾性部材 9, 1 0, 1 1, 1 2, 1 3 が収縮し、胴周りに開口 1 5 の縁部と脚周りに開口 1 6 の縁部と前後胴周りに域 2 0, 2 2 とに多数のギャザーが形成されている。

【 0 0 2 5 】

図 4, 5 は、開放型のおむつ 1 B の部分破断平面図と、前後胴周り域 2 0, 2 2 を連結した着用状態で示すおむつ 1 B の部分破断斜視図とであり、図 6, 7 は、コア 4 の中間部 4 b を省略して示す図 4 の B - B 線端面図と、図 4 の C - C 線端面図とである。図 4 では、横方向を矢印 X で示し、前後方向を矢印 Y で示す。図 5 では、胴周り方向を矢印 X で示し、脚周り方向を矢印 Y で示す。

【 0 0 2 6 】

おむつ 1 B は、透液性表面シート 2 と、不透液性防漏シート 1 7 と、それらシート 2, 1 7 の間に介在し、全体がティッシュペーパー（図示せず）に被覆、接合された吸液性コア 4 と、疎水性繊維不織布 3 a にプラスチックフィルム 3 b を固着した不透液性裏面シート 3 とを主要な構成部材とする。裏面シート 3 は、砂時計型を呈する開放型のおむつ形態を備え、おむつ 1 B の前後胴周り域 2 0, 2 2 と股下域 2 1 とを画成している。

【 0 0 2 7 】

コア 4 は、股下域 2 1 に配置され、前後端部 4 a, 4 c と中間部 4 b とを有する。コア 4 は、前後端部 4 a, 4 c の剛性が中間部 4 b のそれよりも低い。コア 4 は、ティッシュペーパーを介して表面シート 2 と防漏シート 1 7 との内面に接合されている。

【 0 0 2 8 】

表面シート 2 と防漏シート 1 7 とは、それらシート 2, 1 7 の周縁部がコア 4 の周縁から周方向外方へわずかに延び、それらシート 2, 1 7 の周縁部が互いに重なり合った状態で固着されている。防漏シート 1 7 は、股下域 2 1 における裏面シート 3 の内面に固着されている。

【 0 0 2 9 】

股下域 2 1 の両側には、おむつ 1 B の横方向内方へ向かって凹欠する一对の脚周り対向側部 8 が形成されている。股下域 2 1 には、対向側部 8 の前端 8 a から股下域 2 1 の中央部 2 1 a へ向かって弧を画く第 1 弾性部材 9 と、対向側部 8 の後端 8 b から股下域 2 1 の中央部 2 1 a へ向かって弧を画く第 2 弾性部材 1 0 とが伸長状態で取り付けられている。

【 0 0 3 0 】

第1および第2弾性部材9, 10は、対向側部8の前後端8a, 8b近傍を対向側部8に沿って延びる両側部分9a, 10aと、コア4の前後端部4a, 4cを横切る中央部分9b, 10bとを有する。第1および第2弾性部材9, 10は、繊維不織布3aとプラスチックフィルム3bとの間に介在し、それらに固着されている。

【0031】

第1および第2弾性部材9, 10の中央部分9b, 10bの間には、第3弾性部材11が伸長状態で取り付けられている。第3弾性部材11は、対向側部8に沿ってコア4の両側縁4dの外側を前後方向へ延びている。第3弾性部材11は、表面シート2と防漏シート17との間に介在し、それらシート2, 17に固着されている。

【0032】

後胴周り域22の端縁部5には、帯状の胴周り用弾性部材12が伸長状態で取り付けられている。胴周り用弾性部材12は、繊維不織布3aとプラスチックフィルム3bとの間に介在し、それらに固着されている。

【0033】

後胴周り域22の両側縁部7には、横方向内方へ延びるテープファスナ18が取り付けられている。テープファスナ18は、その基端部が繊維不織布3aとプラスチックフィルム3bとの間に介在し、それらに固着されている。テープファスナ18の自由端部には、粘着剤（図示せず）が塗布されている。前胴周り域20における裏面シート3の外面には、プラスチックシートからなる矩形のターゲットテープ19が取り付けられている。ターゲットテープ19は、テープファスナ18に対する止着域となる。

【0034】

おむつ1Bを着用するには、後胴周り域22の両側縁部7を前胴周り域20の両側縁部6の外側に重ね合わせ、粘着剤を介してテープファスナ18の自由端部をターゲットテープ19に止着し、前胴周り域20と後胴周り域22とを連結する。

【0035】

それら図示例のおむつ 1 A, 1 B では、コア 4 の前後端部 4 a, 4 c の剛性が中間部 4 b のそれよりも低いので、第 1 および第 2 弾性部材 9, 1 0 の中央部分 9 b, 1 0 b の収縮がコア 4 の前後端部 4 a, 4 c によって阻止されることはない。おむつ 1 A, 1 B では、中央部分 9 b, 1 0 b が収縮し、その収縮によってコア 4 の前後端部 4 a, 4 c が着用者の肌に押し付けられるので、前後端部 4 a, 4 c を着用者の肌に密着させることができる。

【 0 0 3 6 】

また、おむつ 1 A, 1 B では、それらを着用したときに、第 1 および第 2 弾性部材 9, 1 0 の両側部分 9 a, 1 0 a と第 3 弾性部材 1 1 とが着用者の脚周りを囲繞し、それら弾性部材 9, 1 0, 1 1 が着用者の脚周りの略全周を締め付けるので、第 1 および第 2 弾性部材 9, 1 0 の中央部分 9 b, 1 0 b が股下域 2 1 において前後方向へ離間していても、股下域 2 1 からの排泄物の漏れを防ぐことができる。

【 0 0 3 7 】

それらおむつ 1 A, 1 B では、第 1 および第 2 弾性部材 9, 1 0 の両側部分 9 a, 1 0 a と中央部分 9 b, 1 0 b との伸長応力が両側部分 > 中央部分の関係にあることが好ましい。それら部分 9 a, 1 0 a, 9 b, 1 0 b の伸長応力が前記関係にあるおむつ 1 A, 1 B では、両側部分 9 a, 1 0 a の収縮力によって着用者の脚周りを強く締め付けることができ、中央部分 9 b, 1 0 b が収縮したとしても、コア 4 の前後端部 4 a, 4 c に多数の皺が寄ってしまうことはない。

【 0 0 3 8 】

表面シート 2 には、親水性繊維不織布、または、開孔プラスチックフィルムを使用することができる。防漏シート 1 7 には、不透液性のプラスチックフィルムを使用することができる。

【 0 0 3 9 】

裏面シート 3 には、疎水性繊維不織布 3 a にプラスチックフィルム 3 b を固着した複合シートの他に、疎水性繊維不織布、不透液性のプラスチックフィルム、疎水性繊維不織布を重ね合わせた二層の不織布、のいずれかを使用することができる。また、裏面シート 3 には、高い耐水性を有するメルトブローン法による不

織布を、高い強度を有しかつ柔軟性に富んだスパンボンド法による不織布で挟んだ複合不織布を使用することもできる。

【0040】

不織布としては、スパンレース、ニードルパンチ、メルトブローン、サーマルボンド、スパンボンド、ケミカルボンド、エアースルー、の各製法により製造されたものを使用することができる。不織布の構成繊維としては、ポリオレフィン系、ポリエステル系、ポリアミド系、の各繊維、ポリエチレン／ポリプロピレンまたはポリエステルからなる芯鞘型複合繊維またはサドバイサイド型複合繊維を使用することができる。

【0041】

コア4に含まれるポリマー粒子としては、デンプン系、セルロース系、合成ポリマー系のものを使用することができる。第1および第2弾性部材9, 10や第3弾性部材11、胴周り用弾性部材12、補助弾性部材13には、合成ゴムや天然ゴム等のエラストマーを使用することができる。

【0042】

表裏面シート2, 3どうしの固着、裏面シート3に対する防漏シート17の固着、表裏面シート2, 3に対するコア4の接合、弾性部材9, 10, 11, 12, 13の取り付けには、ホットメルト系接着剤、または、ヒートシールやソニックシール等の熱による溶着手段を使用することができる。

【0043】

【発明の効果】

本発明にかかる使い捨て着用物品によれば、コアの前後端部を横切る第1および第2弾性部材の中央部分が収縮し、その収縮によってコアの前後端部が物品着用者の肌に押し付けられるので、コアの前後端部を着用者の肌に密着させることができる。

【0044】

コアの前後端部の剛性が中間部のそれよりも低い物品では、第1および第2弾性部材の中央部分の収縮がコアの前後端部によって阻止されることはなく、中央部分の収縮を利用してコアの前後端部を着用者の肌に密着させることができる。

【 0 0 4 5 】

第 1 および第 2 弾性部材の中央部分の間に第 3 弾性部材が延びる物品では、それを着用したときに、第 1 および第 2 弾性部材の両側部分と第 3 弾性部材とが着用者の脚周りを囲繞し、それら弾性部材が着用者の脚周りの略全周を締め付けるので、第 1 および第 2 弾性部材の中央部分が股下域において前後方向へ離間していても、股下域からの排泄物の漏れを防ぐことができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

パンツ型に成形する以前の状態で示すおむつの部分破断平面図。

【図 2】

図 1 の状態からパンツ型に成形したおむつの部分破断斜視図。

【図 3】

コアの中間部を省略して示す図 1 の A - A 線断面図。

【図 4】

開放型のおむつの部分破断平面図。

【図 5】

前後胴周り域を連結した着用状態で示すおむつの部分破断斜視図。

【図 6】

コアの中間部を省略して示す図 4 の B - B 線端面図。

【図 7】

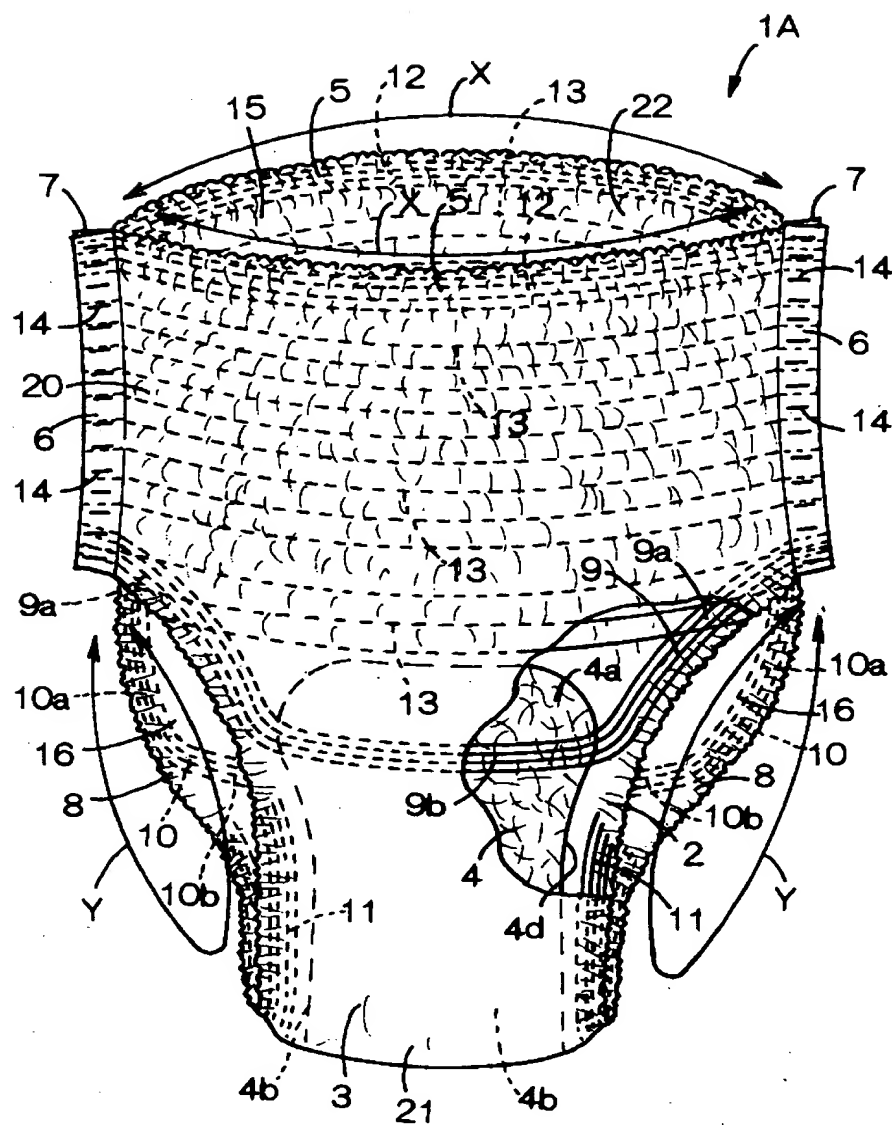
図 4 の C - C 線端面図。

【符号の説明】

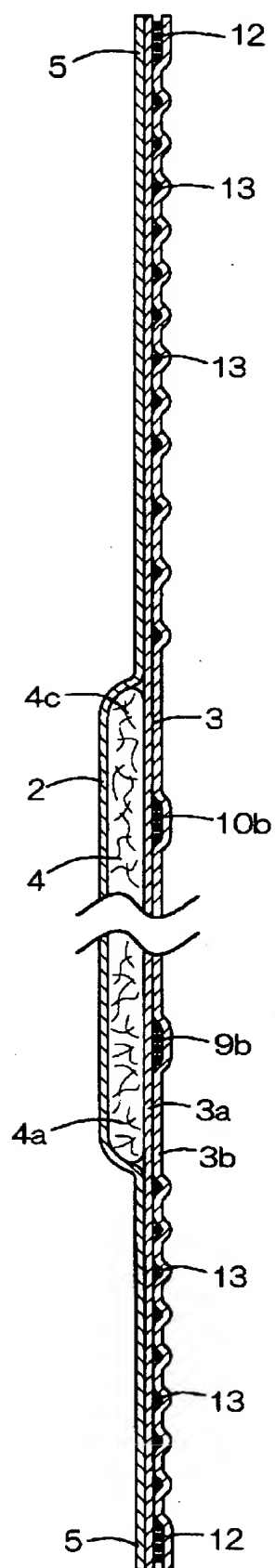
- | | |
|-----|------------------------|
| 1 A | パンツ型の使い捨ておむつ（使い捨て着用物品） |
| 1 B | 開放型の使い捨ておむつ（使い捨て着用物品） |
| 2 | 透液性表面シート |
| 3 | 不透液性裏面シート |
| 4 | 吸液性コア |
| 4 a | 前端部 |
| 4 b | 中間部 |

4 c	後端部
8	脚周り対向側部
8 a	前端
8 b	後端
9	第 1 弾性部材
9 a	両側部分 (第 1 両側部分)
9 b	中央部分 (第 1 中央部分)
1 0	第 2 弾性部材
1 0 a	両側部分 (第 2 両側部分)
1 0 b	中央部分 (第 2 中央部分)
1 1	第 3 弾性部材
2 0	前胴周り域
2 1	股下域
2 1 a	前後方向中央部
2 2	後胴周り域

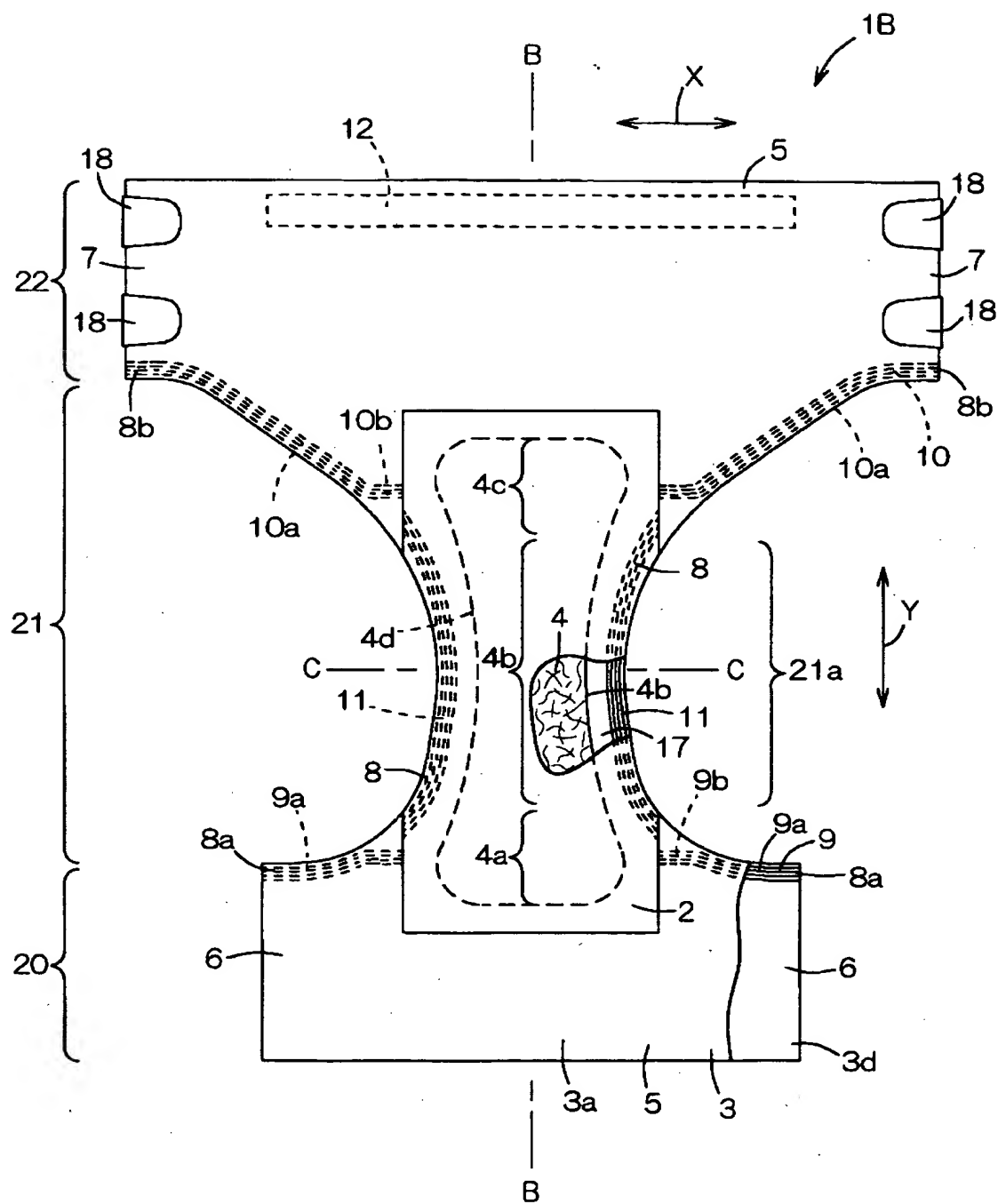
【図 2】



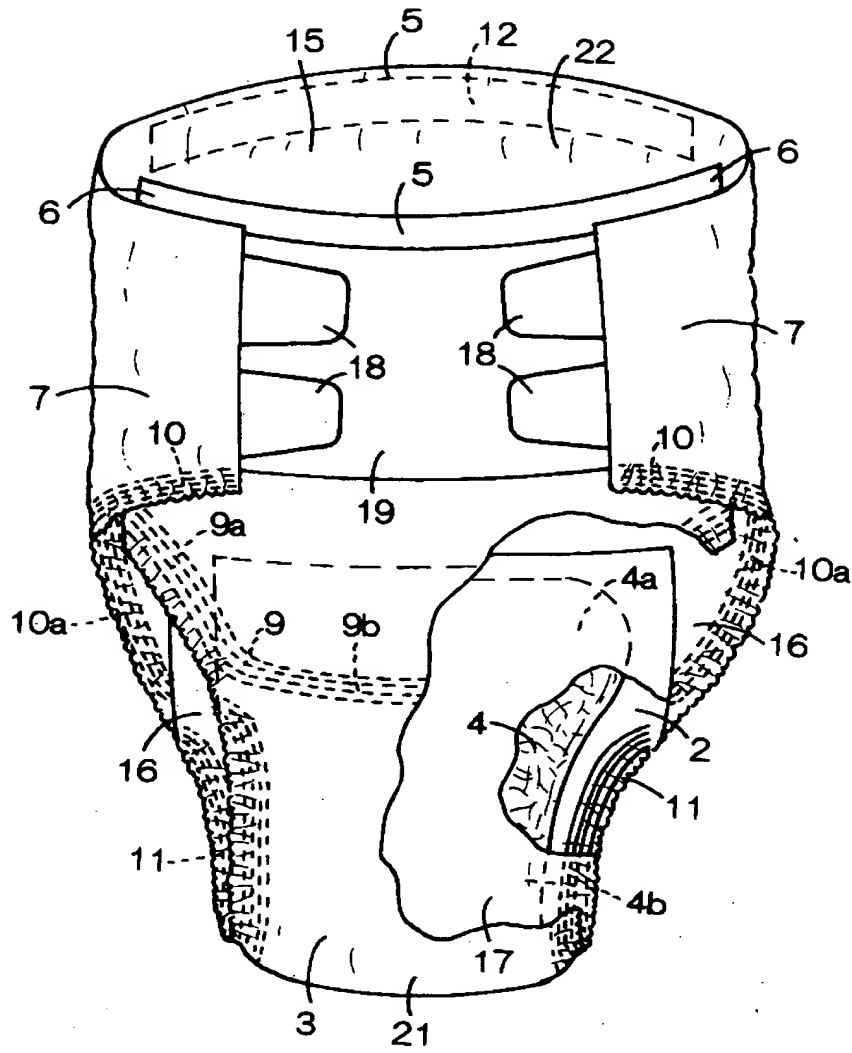
【图 3】



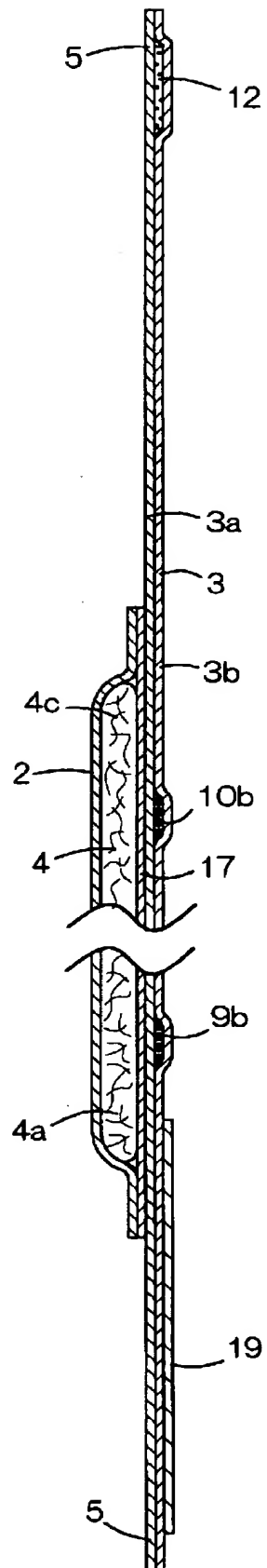
【図 4】



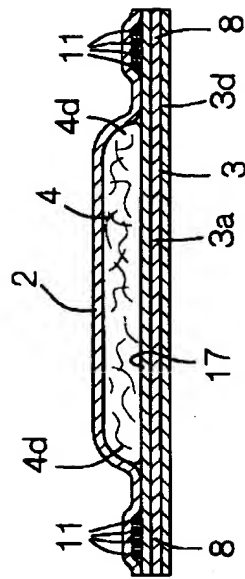
【図 5】



【図 6】



【図 7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 第 1 および第 2 弾性部材の中央部分の収縮を利用し、コアの前後端部を着用者の肌に密着させることができる使い捨て着用物品を提供する。

【解決手段】 股下域 2 1 に配置されたコア 4 が、前後端部 4 a、4 c と中間部 4 b とを有し、第 1 弾性部材 9 が、対向側部 8 の前端 8 a 近傍に延びる両側部分 9 a と、コア 4 の前端部 4 a を横切る中央部分 9 b とを有し、第 2 弾性部材 1 0 が、対向側部 8 の後端 8 b 近傍に延びる両側部分 1 0 a と、コア 4 の後端部 4 c を横切る中央部分 1 0 b とを有する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000115108]

1. 変更年月日	1990年 8月24日
[変更理由]	新規登録
住 所	愛媛県川之江市金生町下分182番地
氏 名	ユニ・チャーム株式会社